

米国の外食王

「その地域の人々にとって、なくてはならない店をつくる」。ロイヤルが創業以来、変わることなく掲げてきた理想だ。この言葉こそ、飲食業の産業化とい

私の履歴書

江頭 匡一
えがしら きょういち

16

急成長を遂げ、五〇年代半ば、すでに米国、カナダなどに千三百あまりのレストランやホテルを持ち、売上高約四百億円の大企業だった。当時の日本では松下電器産業の売り上げ規模だ。また、米国ではすでに「フー

ドサービス・インタストリー(外食産業)」、という言葉が定着。全米の七十の大学にホテル・レストラン学部があるという。まさに感動的だ。私が選んだ飲食

業は、日本でも、将来必ず米国のように産業になる。このとき、そう確信した。

業は、日本でも、将来必ず米国のように産業になる。このとき、そう確信した。

伝記に衝撃、あこがれ

本社訪問もてなしに感銘

業は、日本でも、将来必ず米国のように産業になる。このとき、そう確信した。

業は、日本でも、将来必ず米国のように産業になる。このとき、そう確信した。

業は、日本でも、将来必ず米国のように産業になる。このとき、そう確信した。

業は、日本でも、将来必ず米国のように産業になる。このとき、そう確信した。

ら事業に夢をかけた私を勇気づけてくれた、米国の外食王ハワード・ジョンソンのものだ。

私が目指し、あこがれたその人にとりどころ会えるときがきた。初めて米国を訪れた六八年四月のことだ。

訪れたハワード・ジョンソン本社の受付で、まず感心させられた。米国の中流階級の家庭を思わせるような応接セットがさりげなく置かれ、正面にいる品

訪れたハワード・ジョンソン本社の受付で、まず感心させられた。米国の中流階級の家庭を思わせるような応接セットがさりげなく置かれ、正面にいる品

訪れたハワード・ジョンソン本社の受付で、まず感心させられた。米国の中流階級の家庭を思わせるような応接セットがさりげなく置かれ、正面にいる品

創業者。米国におけるモータリゼーションの発展と軌を一にして

創業者。米国におけるモータリゼーションの発展と軌を一にして

創業者。米国におけるモータリゼーションの発展と軌を一にして

創業者。米国におけるモータリゼーションの発展と軌を一にして

創業者。米国におけるモータリゼーションの発展と軌を一にして



ハワード・ジョンソン

ハワード・ジョンソンは、昔の大きなテープレコーダーを持参した。参考になりそうなものは何でもカメラで撮った。テープには毎晩ホテルで一時間ほど、その日見たこと聞いたことを印象の冷めなうちに録音し、それを翌日の航空便で本社に送った。

(ロイヤル創業者取締役)